

エスタロプラムOD錠「DSEP」 を服用される

社交不安症(SAD)の 患者さんにご家族の方へ



※SAD : Social Anxiety Disorder 社会不安障害、社交恐怖とも呼ばれることがあります。
エスタロプラムOD錠「DSEP」の効能又は効果は社会不安障害です。



第一三共エスファ株式会社

1 治療開始にあたって

社交不安症(SAD)の治療は、「薬物療法」と「精神療法」が行われます。

治療開始にあたり、気になること、わからないことがあったら主治医に相談しましょう。

社交不安症(SAD)の治療の最終的な目標は“**自分らしく自信を持って社会生活を送っていくこと**”です。

治療の最終ゴール



仕事や社会生活をスムーズに



学校生活を可能に



地域との交流を抵抗なく



2 社交不安症(SAD)になる原因

社交不安症(SAD)発症の原因には大きく2つあり、1つは「脳内の情報伝達信号の乱れ」、もう1つは本人に「不安を感じやすい性格傾向」があることです。

原因1 脳内の情報伝達信号の乱れ

社交不安症(SAD)では、**脳内の神経伝達物質のバランスが乱れ**、特に「恐怖・不安」を和らげる役目を果たすセロトニンの量の低下が考えられます。

また、社交不安症(SAD)の人は不安な状況に対し、健康な人に比べ脳の反応が過敏になっているといわれています。

原因2 不安を感じやすい性格傾向

元々の気質として、社交不安症(SAD)になりやすい性格傾向があることもわかっています。

人間関係が複雑化し、緊張や不安を感じやすい現代の社会環境も、社交不安症(SAD)の背景にあるといえます。



3 社交不安症(SAD)の特徴

社交不安症(SAD)では、「強い不安や緊張」を感じたり、それらの状況を「避ける」ことによって下記のような特徴があらわれ、毎日の生活や仕事に支障をきたしてしまう可能性があります。

社交不安症 (SAD)の特徴



人前での発表が
極度に怖い・緊張する



人と接することが
極度に怖い・緊張する



手が震えて
人前で文字が書けない



人前で
電話をかけるのが怖い

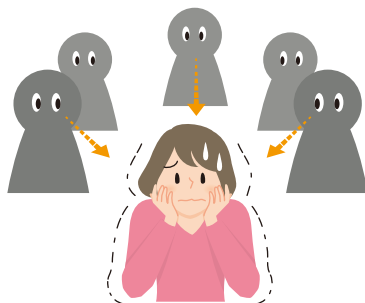


自分の性格のせいだと思いませんか？

社交不安症 (SAD) は、決してあなたの性格の問題ばかりではありません。
適切な治療をすれば改善する可能性があります。



注目されると緊張で
赤面する・汗をかく



周囲からの視線が
極度に怖い



周囲に人がいると
用を足すことができない



人前で
食事ができない

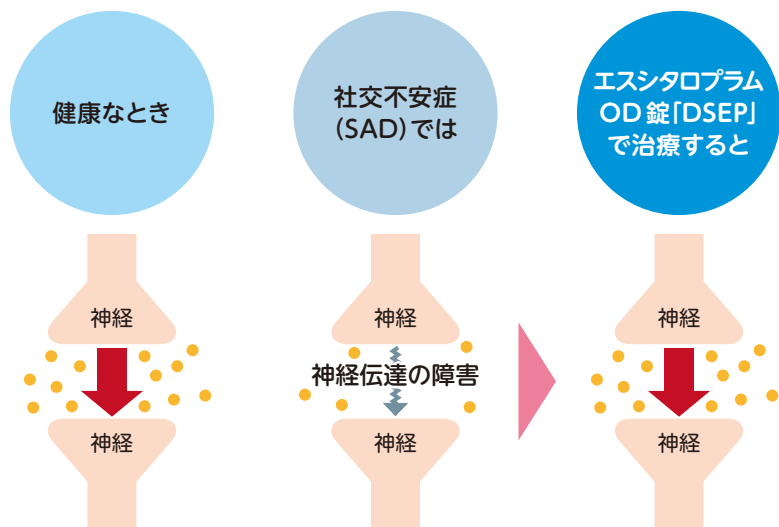


4 エシタロプラムOD錠「DSEP」とは

エシタロプラムOD錠「DSEP」は、社交不安症(SAD)を改善するお薬です。

服用後に脳内に作用し、神経伝達物質のバランスを整え、恐怖や不安を和らげます。

エシタロプラムOD錠「DSEP」の働き



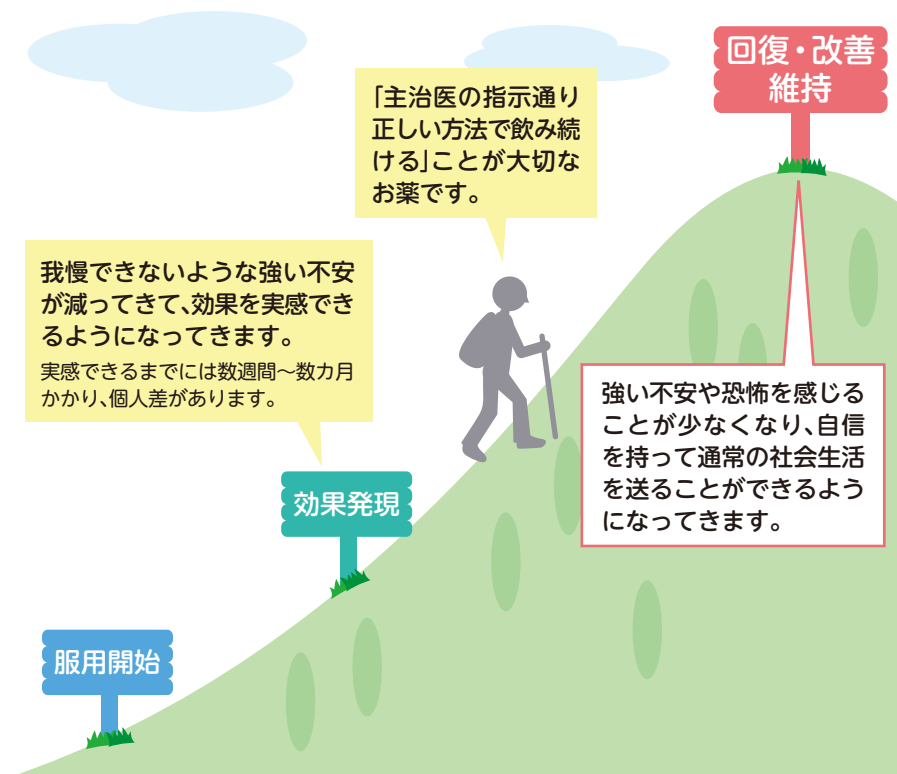
健康なときには、神経伝達の機能は正常に維持されています。

脳内の神経伝達に障害が起こり、社交不安症の症状が引き起こされます。

エシタロプラムOD錠「DSEP」で治療することにより脳内の神経伝達の障害が改善され、社交不安症の症状が安定していきます。



5 治療の効果



服薬期間中には主に

- 悪心
- 眠気
- 頭痛

などの副作用があらわれることがあります。

「副作用がきつい」、または「不安症状が改善してきた」と感じられる場合でも、**自己判断での服薬中止・減薬はせず、必ず主治医に相談し、主治医の指示に従ってください。**急な服薬中止は、副作用の悪化や不安症状の悪化を引き起こす可能性があります。

※服用中の注意点についてはP.10～11をご参照ください。



6

エシタロプラムOD錠[DSEP] 服用前の注意点

次のような方は、エシタロプラムOD錠[DSEP]を使用することができません。

服用前に、必ず主治医にお伝えください。

以前エシタロプラムを有効成分とする薬剤を使用して、アレルギーなどの過敏症が出たことがある方

セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩を服用中、あるいは服用中止後14日以内の方

ピモジドを服用中の方

QT延長のある方 (先天性QT延長症候群など)

現在、心臓の病気 (不整脈、狭心症、心筋梗塞、心不全) の治療を受けていたり、今まで心電図検査で何らかの指摘を受けたりしたことがある方は、QT延長がある可能性がありますので、主治医にお伝えください。

他のお薬を服用している方や、新たに服用する方は、主治医に相談してください。



次のような方には、エシタロプラムOD錠[DSEP]を使う際に特に注意が必要です。

服用前に、主治医と十分に相談してください。

- QT延長のリスクのある方（不整脈、うっ血性心不全、低カリウム血症）、QT延長を起こすことが知られているお薬を使用している方
- CYP2C19(エシタロプラムOD錠[DSEP]を分解(代謝)する酵素)の活性が遺伝的に欠損している方(Poor Metabolizer)
- 死にたいと強く思ったり考えたりしたことがある方
- 躁うつ病の方
- 脳に器質的な障害があると診断されたことがある方、または統合失調症の素因のある方
- 衝動的な行動を起こしやすい病気を合併している方
- てんかん等のけいれん性疾患のある方、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある方
- 出血の危険性を高めるお薬を使用している方
- 出血しやすい方
- 閉塞隅角緑内障の方
- 肝臓に障害、または腎臓に高度の障害のある方
- 妊婦または妊娠している可能性のある方
- 授乳中の方
- 小児
- 高齢の方



7 エシタロプラムOD錠「DSEP」 服用方法

- 1日1回夕食後に決められた錠数を服用してください。
唾液や水で飲みこんでください。

エシタロプラムOD錠10mg「DSEP」



表



裏



側面



エシタロプラムOD錠20mg「DSEP」



表



裏



側面



* 錠剤は実物大です。

8 エシタロプラムOD錠「DSEP」 服用中の注意点

エシタロプラムOD錠「DSEP」を服用しているときには、次のようなことに注意してください。

- 1 飲み忘れないように、毎日夕食後にきちんと飲みましょう。
飲み忘れても、一度に2回分を飲まないでください。間違えて多く
飲みすぎてしまったときには、主治医に連絡してください。



2 定期的に診察を受けましょう。

社交不安症の治療中は、お薬の効果の確認や副作用を早く見つけるためにも、定期的に診察を受けてください。

3 「治った」と感じて、飲み続けましょう。

症状が少しずつよくなると、「治った」「回復した」と感じるときがあります。このような場合でも、自分の判断でお薬の服用をやめたり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせりなどの症状があらわれることがあります。主治医と相談しながら指示どおりに飲み続け、最後まで治療を続けてください。

4 次のような症状があらわれた場合は、すぐに主治医や薬剤師に相談しましょう。

- ・不安感が強くなり死にたいと思うなどの症状があらわれた場合。特に飲みはじめや飲む量を変更したときに、このような症状が出る場合があります。
- ・不安が急に強くなる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができないなどの症状があらわれた場合。

5 ご家族の方は、患者さんの状態を観察し、変化がみられた場合は主治医や薬剤師に相談しましょう。

ご家族の方は、患者さんの状態が④のように変化する可能性について、主治医から十分に説明を受け、患者さんをよく観察してください。また、患者さんご自身も症状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方に伝えるようにしてください。

6 次のような症状があらわれた場合は、主治医や薬剤師に相談してください。

- 悪心 ■眠気 ■頭痛 ■口の渇き ■めまい
- 倦怠感 ■下痢 ■腹部不快感 など

また、射精障害、射精遅延、性的な関心や性欲の低下などの症状を自覚された場合。



エシタロプラムOD錠「DSEP」

医療機関名（連絡先）

〈緊急時連絡先〉

医師名

看護師名

薬剤師名



Daiichi-Sankyo

第一三共エスファ株式会社

EPESC1P00301-1

2024年3月作成